

三協紙業北茨城工場

# フィルム巻芯生産の要

## 茨城の工場 生産最前線

204

所在地 北茨城市中郷町日柵2138

モ 操業開始 2011年6月

メ 敷地面積 約1・1畝

概要 従業員 9人

生産品目 光学フィルム用シームレス紙管とプラスチックコア

紙管メーカー、三協 完工直前に東日本大震災が発生、停電やサブリッチェーン(供給網)寸断に見舞われたの巻芯となる、表面の段差を削り樹脂塗り工程を施したシームレス紙管と樹脂製のプラスチックコア(プラスチック)を生産する。年間でシームレス紙管2400ト、プラスチック800トを生産する主力工場だ。昨年6月に稼働。本年中にプラスチック生産能力を年間1600トに倍増させる計画だ。

トフリー工場。太陽光発電パネルや液晶画面の分野でニーズが高まる光学フィルムなど、繊細な製品をターゲットにする。新しいビジネスモデルをユーザーに向けて発信する提案型の生産拠点としても位置付け。「商品を作って売るといっただけでなく、磨を同時に行う仕組みで、大幅な生産時間短縮を実現した。

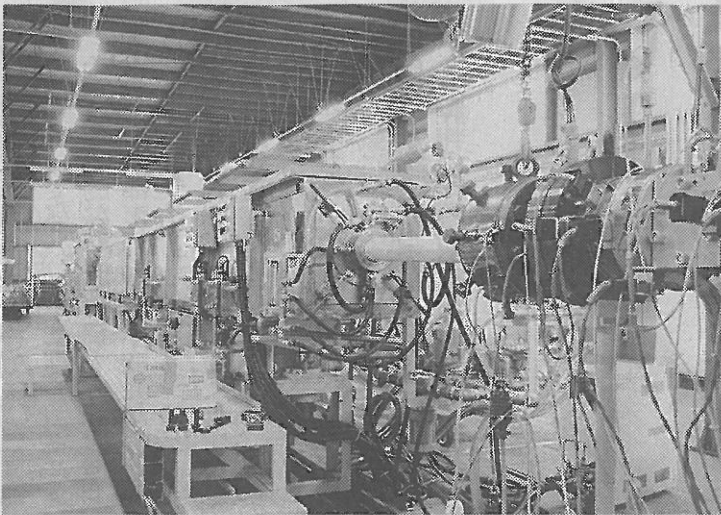
■提案型拠点 同工場はクリーンルームで使用される製品の巻芯に特化したタス

## 搬送システム開発

で、大幅な生産時間短縮を実現した。

販売や活用法、回収、物流に至るまで、長年培ったノウハウを駆使し提案する(佐方社長)としている。さらに紙管とプラスチックを融合させ、互いの長所を生かした新製品開発も行う。

■新たな技術 シームレス紙管では、生産ライン上の搬送システムにおいて独自開発した方式を採用。従来の仕上がりをそのままに、生産速度の向上を図り、製造原価を大幅に低減した。昨年末には、強度を維持しつつシームレス



光学フィルム用のプラスチックコア生産ライン

熱を空調に有効利用し、省エネ活動も推進している。(第2火曜掲載)